

HIGH CLASS
note BOOK



フクシャの研究

敬学会賞第十九回入選作品

五年二組

大場吉彦

チダ A 30

目次

- (1) 研究の動機
- (2) フクシヤの種類
- (3) さしきの方法
- (4) さしきの準備と方法
- (5) さしきのしかたと木のきり方
- (6) 根のつきかたのようす
- (7) 肥料のやり方、および肥料のえらび方
- (8) 花かさき終わってからのしち
- (10) 研究の結果
- (11) 反省

世話になった人、ぼくの父

ぼくの家には、がくが赤色で、むらさき色の^ハハエの花
と、同じく、ハエの花と、がくが赤で、花びらが白いのと、
がくが赤で、赤むらさき色の花びらのと、四種類しか
ないので、遠くう赤虫やさんの家に、いっ物を見せても
らいに行き、がくが白で、花びらが赤むらさき色の^ハハエ
と、ハエのと、がくが赤で、花びらが白むらさき色のと、がく
が白で、花びらも白色の、四種類の葉のつき方や、つぼ
みの形~~や~~花の色~~を~~見せてもらいました。

1) 石研究の動機

ぼくの家には、毎年美しくさく、ちゃんのような
赤むらさき色や、むらさき色や、白色や、白むらさき色
の花がさく草花を、ぼくの父が毎年たいていそをてて
いる美しい花を見ているうちに、ぼくも、フクシャの
花をさかせてみたいと鬼ったから、

葉のつき方
による分類

花の色による
種類わけ

葉の形

と
葉の色

花がさく
期間

つぼみの形

かくの色
がくの数

花ひらの数

おしべ

対生葉
じよ

赤むらさき色

むかさき色

白むらさき色

白色

①形 たい円形
きよし円形

②色 きみどり

③形 上と同じ

④色 上と同じ

⑤形 上と同じ

⑥色 きみどり色

⑦形 上と同じ

⑧色 上と同じ

⑨形 上と同じ

⑩色 きみどり

⑪形 上と同じ

⑫色 きみどり

⑬形 上と同じ

⑭色 上と同じ

6月~10月

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃



赤色

4まい
白色

4まい
白色

4まい
赤色

4まい
赤色

4まい

上と同じ

上と同じ

白色
4まい

ゆうつん花
りかく花

花ひら 4まい

〃

〃

花ひら 5/2まい

〃

花 4まい

〃

12まい

〃

花ひら 4まい

〃

〃

〃

花ひら 12まい

めしべ

おしべ 8本

めしべ 1本

〃

〃

〃

〃

〃

〃

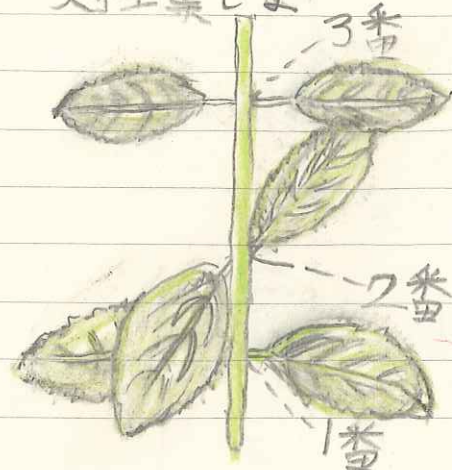
〃

〃

〃

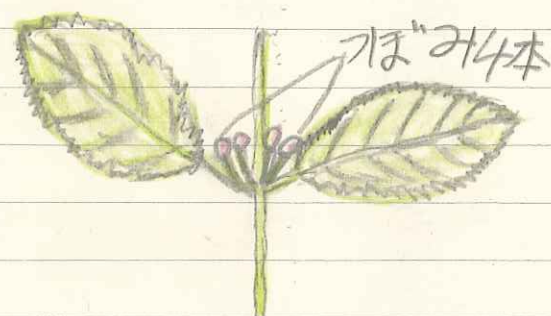
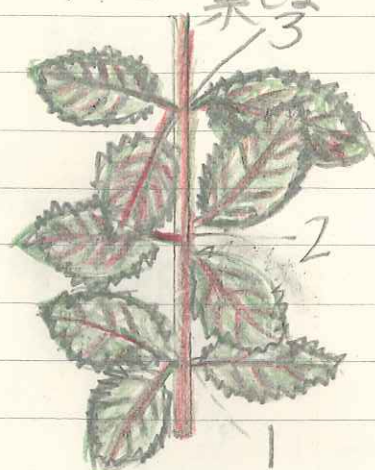
りん生葉

対生葉じよ



1番と3番の葉のつき方の方向が同じ
2番と4番の葉のつき方の方向が同じ

りんせい葉じよ



葉のつけねの戸付2本づつ
4本のつぼみが出ている



葉のつけねの戸付2本づつ
6本のつぼみが出る

対生葉じよ



あたらしい葉

1つのふしに、2まいずつ。

葉がつくことを対生といひ、

その葉のなからか方を対生

葉じよといいます。

1番下の葉を1番とすると2つ

ずつ、えた番号の葉がそ

の上にきます。

りん生葉じよ



あたらしい葉

1つのふしに、3まい以上ずつ。

葉がつくものを、りんせいといひは

す。

このような葉のなからか方を、りん生

葉じよといいます。

このりん生の場では、1番

の葉の上へ2つずつ、えた

番号にづいていきます。

(3) サシキした花と方法えらび方

ほくがしたのほ、播つきやすくそぢやすい、かクが赤く、花からが赤むらさき色の物、えらんを埋ゆうほ、播つきやすく、そぢやすいから、他の物は、根つきがおそく、木の成長もほくがえらんを、物にくらべるとおそい。

(4) サシキの準備と方法

① 小さい砂を用意する(川から取ってきた)

② 砂をバケツに入れて、ごみをあらう流す。

③ 砂を直けい約15cmのはちに入れる

(5) さし木の方法と木の切り方



父がそをてていた、おや木から芽が出たところ二本切り取つてもらった。

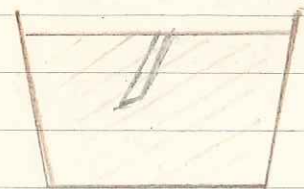
① 葉を四まいーほいぐらいのところから、ななめに切りとる。

② 用意したはち、指であなをあけて、そのあなの中に入れ、あなをうめておちつ水をかける。

③ 日のあたらないひかげにおく。

④ 毎日朝夕二回水をかける。

(6) 根のつき方のようす



①五日目に指先で砂ごと
ほつて静か砂を取って見
ると、白い物が^つついていてい
たので、静かたもと^りとして水をか
けてやった。



②十日目にまた指先で砂がらみ
ほつて静か砂を取って見ると、
まっ白い糸のような糸田^い、もうこん
が3cmほどのびていた、

静か砂^にうめ^て水をかけてやった。



③十五日目にいっしょくすることにした。

別のはちに土地^をわりと砂
4わりくらいをよくま^せて、



はちに入れ、
はちのまん中に指であなをあけ
ておいて、
サシキのはちより指で砂がらみ
取り出し、砂をとって見たらそうこ
んが3本にふえていた。

はちのあなの中に入れ、土地をかぶせて土地
を静かにおし、水をかけてから日かげに3日~4日
置く。

④4日目の朝から、日にあてることにした。

日にあててから1週間めころからのびて
くるのがわかるようになった。

十日めにはあたらしい芽が^つ出てきはじめた。

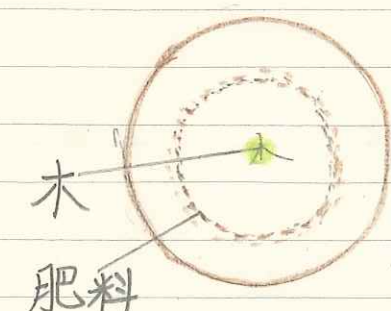
六十日めころは小さいつぼみが見られるようになった。



三ヶ月ころにはつさき初めた

① 肥料のやり方及肥料のえらび方

① 肥料のやるじきおよびやり方は、
いよくしてから、十日〜十五日前
から、木の根のまわりに、おのよう
にかける



② 肥料は油かすか、おんそうした魚の
粉末。

(9) 冬期間中のちようどう方法

ちようどう方法には2通りある

① 土地の中はちがらみいけて春の初め

ころほり出す方法

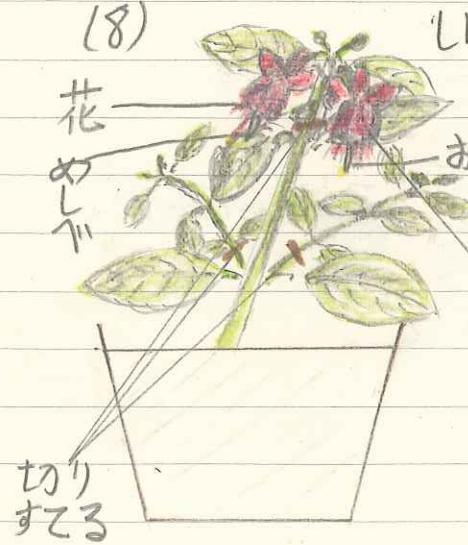
この方法はしつはいも少なく手数がつかからない
ので、かんたんな方法である。

② 家の中になぞうする方法

① 家の中にちようどうするには、室内の温度が、
五度せつ以下にならないように注意する事が
たいせつです。

② 11の間に1回は水をかけてやるようにする。

(8) しほう(もし植物)花がさき終わってか



おがらのしち。

土地から10cm〜15cmを切る

花びらくりんへん花

切り
すてる

(10) 石研究の結果

①この花は水が不足するとすぐしなびたり
おれたりする事がわかった。

②この草花はしもや雪(寒さに弱い事)

③秋のせんざい方法1つで、春の芽の出き方、
草花の成長に違いがある事。

④冬期間室内温度いかに、さくのが速くなつ
たりおそくなつたりする。

⑤さしきのじきは四月～五月のあいだ

⑥八種類のいろいろな花がせくが

⑦がくが赤で花びらの白い花のさく2種類

をのぞいたほ^ろは、葉のつき方がみな同じで、
対生葉じよといって1つのふした葉が2まいず
つつく。

⑧がくが赤く花びらの白い花は、りん生葉じよ
といって1つのふした3まいずつ葉がつきます。

⑨同種類の中にも対生葉じよと、りん生葉じよの
つき方をする物がある。

⑩この木のとくちょう

この木は三～四年目ころには、木がすなわすかれ
てしまうことです。ぼくの家では四回もかしました。

1番初めのは、がくが赤で花びらがむらさき色
の花の木が、三年目にかれました。

つきはがくが赤で花びらがむらさき色のやえの花
の木が、やはり三年目にかれました。

つきはがくが赤で、赤むらさき色の花の木が四年めにかれました。

今年はずくず赤で、花びらが白い花の木が四年目の8月14日の日っぽみを11のこしておりました。

かれきをきってしらべてみたが、おんせんにかれていておけではないので木を、はちより取って、^{つち}を静かにはさいのけ、根のしやうたいをしらべて見たら、^{つち}根毛が少ないので、肥料や水分地中の~~空気~~を、すい上げることが弱くなったので、木の葉や花の生長にもうぶんな働きが、できなくなつて、しぼんでいけるのではないかと鬼います。

⑧ ほくの家では、この赤むらさきの花を^六年めさかせていますが、二年初めて人間でいえは「きけい」にたつた

きけい花と言う変った花が、二年初めて、おなじ木に1つだけさきました。

なぜこんな花が^さいたのかは、ほくには、わかりません。

	ふつうさく花	1つたりけさいたきけい花
がく	4まい	10まい
花びら	4まい	10まい
メシヤ	1本	1本よりとくて大きい
オシヤ	8本	十六本
子房 しほう	小さい	大きい約1.5倍くらい

(11) 反省省

- ① 三年か四年目にたれる原因、およびたれるのをふせぐ方法をしつて見たいと思う。
- ② きけい花の出る理由をしつて見たいと思う。
- ③ 子房^{しほう}があるが、種にならずにあちてしまうので、なんとか種が出るように見たいと思う。

